

学校だより

茅野市立
東部中学校

信頼を築く 学校

令和4年度 No.9 文責 濱

発行日 9月 2日(金)

二学期始業式 校長講話

昨日で夏休みが終わり、今日から二学期が始まります。

先程の朝の清掃、お疲れ様でした。二学期のスタートから黙々と清掃に取り組むみなさんの姿を見て、とても爽やかな気持ちになりました。ありがとうございました。

さて、みなさん夏休みはどのような夏休みだったでしょうか。もっと言うと、どんな夏休みにしましたか？一学期の終業式に「夏休みという明日から始まる未来の時間は、まだ、どんなものになるのか、何も決まっていないのです。すべては、明日から、みなさんがどのように行動するのかによって決めていかれるのです。」「自分で考え、自分から行動する、主体的な夏休みにできたら、本当に素敵ですね。」という話をしました。

24日間の夏休みでしたが、その振り返りをして、上手くいったことも、思うようにできなかったことも含めて、二学期のスタートに繋げてください。

この二学期、みなさんに大切にしてほしいことは、一学期から継続で「Think&Act」、主体的に考え、主体的に行動するということです。二学期は長い学期になります。その中には、生徒会最大行事とも言える八ヶ嶺祭をはじめとする様々な大切な行事があります。三年生にとっては進路決定が本格化し、一、二年生も次の学年に向かうことを意識した生活が求められていきます。令和4年度を充実させるための大切な学期です。先程、発表をしてくれたSさん、Oさん、Mさんの二学期の決意の中には、「自分の思い」「主体的な行動への決意」がしっかりとありました。このように、みなさんには、主体的に考え、主体的に行動するということが大切にしていってほしいと願っています。言われたことをやるだけではつまらないし、もったいないですね。言われたことややるべきことをしっかりやることを大切な土台とし、みなさんが考える、「こうなりたい」「こんなことできたらいいな」「こうしたらもっと楽しい」を具体的な行動に繋げていってほしいと思います。

ちょっと話が変わりますが、みなさんは、これまでの人生で、何回転んだことがありますか？10回ですか、30回ですか、50回ですか、100回ですか。

みなさんは覚えていないと思いますが、ある調査によると、赤ちゃんが歩けるようになるまでに、平均すると243回転ぶのだそうです。

転んでも、転んでも、立って歩くことをあきらめずに、何度も挑戦し、そして、徐々に立てるようになり、そして、少しずつ歩けるようになり、そして、今みなさんが毎日あたり前にしているように、歩けるようになっているのです。これは、赤ちゃんだったみなさんの中に、立って歩けるようになりたいという強い思いがあったことと、何度も上手くいかなくても挑戦し続ける強い行動力があったからできたことです。

こんな素晴らしい、こうなりたいと考える力と、そのために具体的な行動し、挑戦を続けるという力がみなさんの中にはあるのです。しかし、いつのまにか、そんな無理だよと始める前からあきらめたり、ちょっとやってみて上手くいかないと、自分には無理だと、自分の可能性を否定してしまったりすることが増えていってはいないでしょうか。

終業式にも話をしましたが、みなさんは可能性の塊です。主体的に考え、主体的な行動で、どうかみなさんの可能性を大切に具体的な形にしていく二学期にしていきましょう。

最後にお願いします。みなさんも知っての通り、新型コロナウイルスによる感染症の広がりが止まりません。

二つのことをお願いします。

一つは、どんなに感染症対策をしても罹ることのある病気だということをしっかりと頭に置いて、温かい人権感覚を持って毎日の生活を送っていくということです。

もう一つは、これまでの感染症対策を継続して、徹底していくことです。様々な工夫や配慮をしながら、できるだけみなさんの学校生活の形を変えずに、そして、同時にコロナ対策も徹底していきます。全員で手洗い、うがい、換気、密をつくらない、給食時の黙食等、これまでの対策をしっかりと意識し、徹底していきます。そして、体調不良や風邪症状のあるときには、決して無理をしないようにしてください。

さあ、二学期が始まります。がんばっていきましょう。

一学期の終業式に各学年の代表者が振り返りを発表してくれました。

1 学年代表 I・Y さん

一学期を振り返って

私はこの一学期に色々なことを学びました。中学校に入って違う学校の人達と一緒に生活できるかとても不安でした。けれどその不安はなくなりました。理由はみんながとても優しくしてくれたからです。同じ学校の人でも、一度も同じクラスになったことのない人ばかりで、話しかけられる人も少なかったです。けれどその一ヶ月後にはクラスの人達のほとんどと友達になりました。とてもたくさんの人と話せるようになり、うれしかったです。二学期にはクラス以外の人とも話していきたいです。

あと、一学期にできなかったこともあります。それは積極的に手を挙げることです。私は授業中、手を挙げるのが苦手です。なぜかとても緊張してあげたくても挙げられません。なので二学期は、積極的に手を挙げることを意識して、生活していきたいです。

この様に大切なものが見つかったり、一学期にできなかったことを二学期にできるようにしたいなど、二学期にやりたいことがたくさんあります。なので、毎日少しずつ、目標にたどり着けるよう頑張って取り組んでいきたいです。

2 学年代表 H・K さん

一学期を振り返って

私は一学期に頑張ったことが四つあります。一つ目は、一年生のときに上手くできなかった「挨拶」です。二年生になって後輩にも挨拶をするようになりました。相手を見て大きな声であいさつすることを意識して取り組んだので、一年生のときよりも挨拶できるようになったと思います。ですが、先に挨拶してくれるのを待ってしまっている自分がたまにいます。誰もが先にあいさつしてくれるわけではないので、二学期は「自分から挨拶」することを意識していきたいです。

二つ目は、クラスに貢献することです。私のクラスは日々、学級目標達成に励んでいます。二分前着席や給食当番などみんなで協力してきました。私もクラスに貢献できるよう取り組んできたと思います。ですが、二分前に着席ができなかったり、食器をもってくるのが遅くなってしまうったり、少し欠けてるところがあると思うので、クラス全員が協力できるよう、声を掛けることを一つの貢献だと思って取り組んでいきたいです。そして、誰かが声を掛けることで協力できる場面もあると思うので、私も周りの友達から声をかけて、みんなで協力し合えるクラスにしていきたいです。

三つ目は、最後まであきらめないことです。私には、最後までやり遂げる力が足りないと思います。なので、一学期のはじめに比べてあまり変わっていませんでした。最初は集中してできて途中で上手いかなかったり、飽きてしまうと中途半端で終わってしまうことが多くあると思います。特に、勉強などの場面では、計画していたことを途中でやめてしまうことがあります。そして、一回でたくさんやろうとしてしまうのも、中途半端になってしまうことの一つの原因だと思います。なので、自分の集中できる時間を増やし、

自分に合った環境で取り組めるようにしていきたいです。

四つ目は時間通りに行動することです。私は、友達のことを意識して遅れそうになってしまうことが多々あり、周りに流されずに行動することを課題にしていました。最初はなかなか自分の気持ちに正直になることができませんでしたが、段々と自分の気持ちに正直になれるようになってきました。友達が忙しそうにしていたら一言声をかけて行動することで誰も嫌な気持ちをせずに行動できたと思います。なぜこんなことが早くできなかつたんだろうと考えたら、一緒に行動することにとらわれすぎていたことに気がつきました。

これらのことを通して、二学期は挨拶や時間などできるようになったところは継続して、クラスに貢献できるように声をかけて、最後まであきらめない姿を目指していきたいです。

3 学年代表 I・S さん

一学期の自分の反省とそのまとめについて

私たち三年生にとって、今年の一学期は今までの学校生活の中で最も忙しく大変な学期となりました。最後の大会に向けての部活動や中学校生活の中でとても大きな行事の修学旅行、そしてやはり一番は、テストの回数が格段に多くなったことが忙しくなった主な理由だと思います。そういった中で、私が努力できたところ、また上手くいかなかったところを思い出し、そこから考えたことをこの一学期のまとめとしてお話しします。

一つ目は、自分の授業態度や自主学習での勉強内容についてです。私は一学期を迎えて、すぐに、三学年の大変さを痛感しました。三学年になると、今まで一学期毎に一、二回だったテストに加え、月に一度復習テストが追加されます。今習っているところだけでなく、一、二年の範囲も含まれていて、内容も格段に難しくなっており、それまでの勉強量とは比べものにならないほどの学習が必要不可欠となっていきました。そのため、授業の聴き方やノートの取り方などを改良したり、自宅での学習内容を見直すなど、工夫を凝らしていくようになりました。

二つ目は自分の体調管理についてです。一学期では、部活動により一層力を入れたり、頻繁に行われるテストに向けて、勉強時間を増やしたりと、今までよりも大変で忙しいことがたくさんありました。そのために睡眠時間を削ってしまい、次の日に体調を崩してしまうことが何度かあったため、自分の生活習慣を見直し、自分の健康状態を日々意識することができるようになりました。しかし、まだ時々体調を崩してしまったりすることもあるので、これからも睡眠をはじめとする管理に注意していきたいです。

これら二つのことから、私は「自分が続けていくことができる勉強内容と体調管理」を、二学期はより意識して過ごすことが一番大切になってくるのではないかと感じました。夏休みの間も気持ちをだらけさせずに、二学期に生かせるよう、休みを有効活用していきたいです。

しっかりと次につながる振り返り、自分の思い、決意が具体的に語られています。素晴らしいです。

二学期始業式にも同様に、各学年生徒による発表がありました。そちらも大変に充実した内容のものでした。次回の学校だよりでご紹介させていただきます。

新型コロナウイルス感染症対策へのご協力に感謝申し上げます

夏休み明け、「第七波」と呼ばれる新型コロナウイルスによる感染症の状況がどのように変化をしていくのか、大きな心配を抱きつつも、学校での感染症対策に万全を期すよう全職員で確認を行い、二学期の学校生活がスタートをしました。

生徒、保護者の皆様の多大なるご理解、ご協力をいただきながら、ここまで、学校内感染が起きることなく、二学期の学校生活が送れています。これは、生徒が意識高く感染症対策を徹底し、保護者の皆様の毎朝のリーバへの入力、速やかなご連絡、学校の対応へのご理解、ご協力のおかげであります。誠にあり

がとうございます。

二学期が始まって行われた2学年登山、1学年の農林業体験も、感染症対策を万全に行った上で実施し、滞りなく行うことができました。

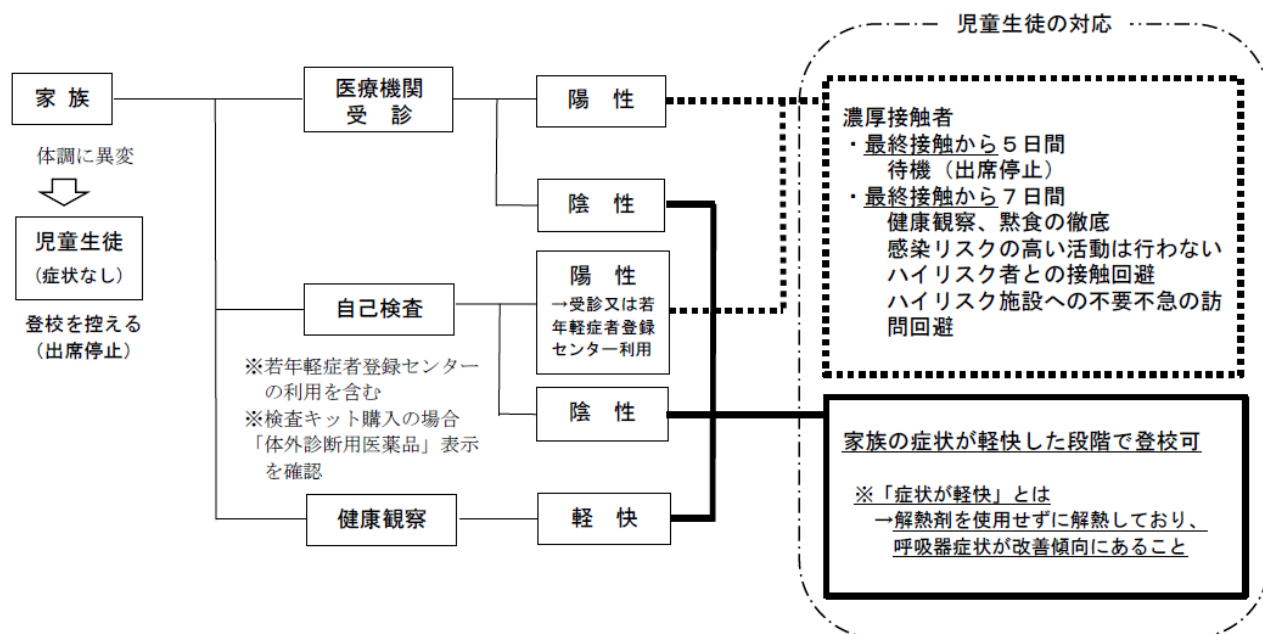
現在、東部中学校では、以下のことを中心に新型コロナウイルス感染症対応を行っております。

- ① どんなに対策をしても、かかることのある病気であるという前提の下、温かな人権感覚ある生活を継続していく。
- ② これまでの感染症対策を緩めることなく継続し、徹底する。
- ③ 可能な範囲で、生徒の「学び」に負担がかかる対応を避けることと校内においての「密」発生を回避することの両立を柱とし、具体的な生徒の生活の様子を基に臨機応変に対応を行う。
 - ・密の発生しやすい時間帯、場所について必要に応じて「時差」等を設定する。
 - ・合唱指導、合唱練習は、普通教室で学級の生徒全員が行うことはしない。
 - ・学年集会、学年がそろっての合唱練習は、体育館、屋外のみ可とする。
 - ・授業の中で一定時間以上密となる学習形態を避ける。
 - ・マスクを取る給食時は前向き黙食とする 等々
- ④ 部活動は、感染症対策を徹底した上で、内容、時間を考慮し行う。また、練習試合については、当面行わないこととする。

これらのことを含め、今後も社会的な状況、校内の状況を注視し、必要な対応を行って参ります。保護者の皆様には、引き続きのご理解、ご協力をお願い申し上げます。

県より、以下の様に対応のフローチャートが示されました。状況に応じて対応のご参考にさせていただければと存じます。

同居の家族が体調に異変を感じた場合の児童生徒の対応について



保護者の皆様、二学期も大変お世話になります。コロナに関わる対応を徹底しながら、文化祭をはじめとした様々な行事、毎日の生活が充実したものになるよう努めて参りますので、一学期と変わらぬご理解、ご協力をいただければと存じます。よろしく願いいたします。

生徒の健康に関すること、スクールソーシャルワーカー (SSW)、スクールカウンセラー (SC) への相談等ご希望がありましたら、お気軽に学校までご連絡をお願いします。また、「育ちあいちの」へ相談は随時行えます。ぜひ、ご利用ください。

茅野市立東部中学校
濱 喜一郎(校長)
〒391-0011 茅野市玉川 10030
電話 79-5050 Fax 79-5242